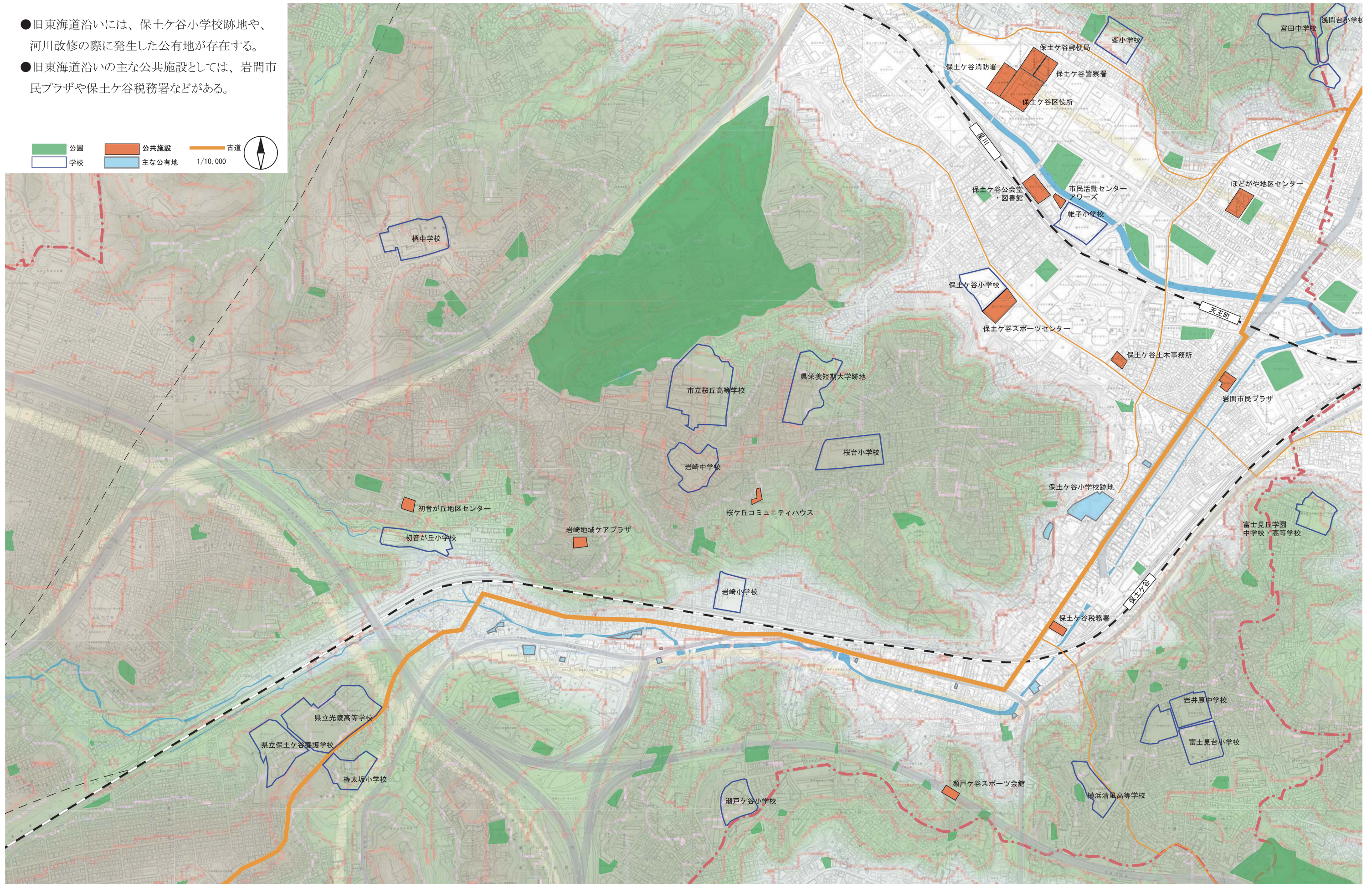


3. 旧東海道地域の空間構造

2. 地形、緑地・公園・公共施設の分布

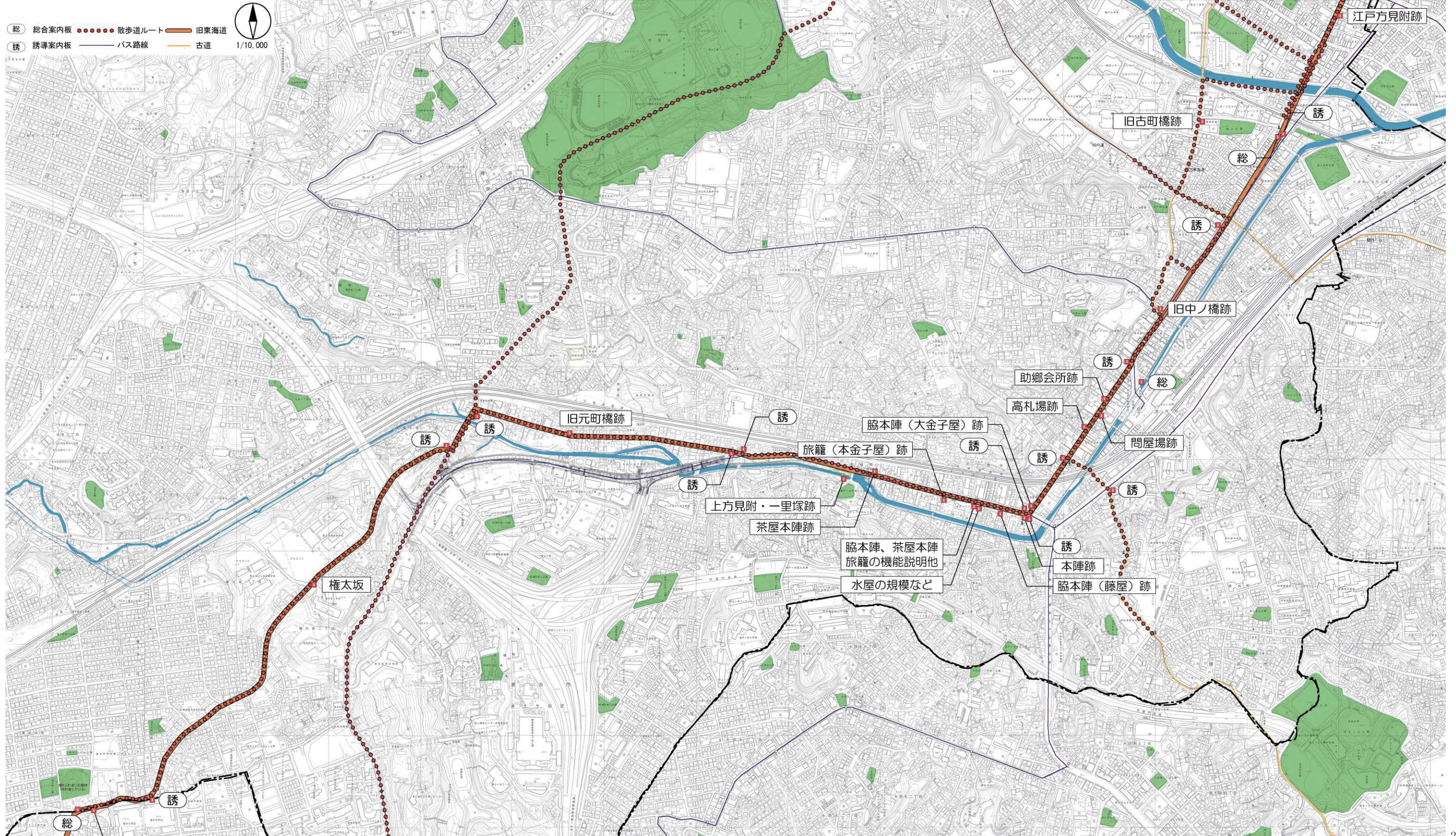
- 旧東海道沿いには、保土ヶ谷小学校跡地や、河川改修の際に発生した公有地が存在する。
- 旧東海道沿いの主な公共施設としては、岩間市民プラザや保土ヶ谷税務署などがある。



3. 旧東海道地域の空間構造

3. 散歩道、サインの分布

- 平成10年から16年にかけて、案内板や説明版など、計34ヶ所にサインが設置されている。
- 旧東海道地域をはじめとして、保土ヶ谷区全域にわたって7つの散策コースが定められ、「散策ガイド」も平成16年に発行されている。



3. 旧東海道地域の空間構造

4. 旧東海道地域の主要な公共事業

今井川

- 今井川の河川改修が下流から上流へ、順次進められている。
- 今後は、新大橋より上流部分と金沢橋、保土ヶ谷橋付近が主な事業箇所となる。

国道1号

- 現在は、瀬戸ヶ谷橋から狩場インターまでの区間の拡幅工事が行われており、平成19年度中に工事終了予定である。
- 今後は、保土ヶ谷橋から瀬戸ヶ谷橋までの区間が交通のボトルネックとなっているため、拡幅が必要になってくるが、現在事業化に向けて調整中の段階である。

相鉄線高架化

- 現在、相鉄線の高架化事業が進行中であり、天王町駅も建て替えられる予定である。
- 天王町駅周辺の再整備の構想はあるが、詳細はまだ決まっていない。

保土ヶ谷小学校跡地

- 保土ヶ谷小学校が移転した跡地は、現在「イコットハウス」（コミュニティ施設）が建てられ、暫定活用されている。校庭は、広場として開放されている。
- 校庭の一角に、区と地元小学生が協働で創ったビオトープ「保土ヶ谷ビオガーデン」が整備されている。


凡例

- 市有地
- 都市計画道路
- 河川改修計画
- 公園
- 学校


1:10,000




5. 現地調査による魅力・課題の分析




1 戸塚区方面の東海道




2 武相国境モニュメント




3 緑の豊かな境木地蔵尊




4 立場茶屋の面影を感じさせる旧家



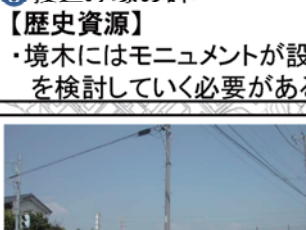
5 沿道の大きな駐車場




7 殺風景な市営バス折返し所




12 沿道の資材置き場




8 投げ込み塚の碑




18 「権太坂」の石碑




24 道端にある碑と祠




27 道端にある石碑




22 ゴミ置き場




26 国道1号と旧道の合流部分




28 今井川の橋のゴミ置き場




19 ゴミ置き場



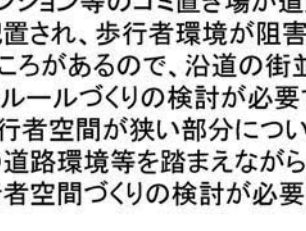
15 沿道にある農場




16 緑の豊かな交差点




9 沿道の生け垣による潤いのある街路空間




15 沿道にある農場




16 緑の豊かな交差点




9 沿道の生け垣による潤いのある街路空間




15 沿道にある農場




16 緑の豊かな交差点



9 沿道の生け垣による潤いのある街路空間



15 沿道にある農場



16 緑の豊かな交差点

【歴史資源】
 ・境木にはモニュメントが設置され、周辺の広場空間と合わせて整備されているので、歴史資源をつなぐルートの魅力向上を検討していく必要がある。

【歩行者環境】
 ・マンション等のゴミ置き場が道路に面して配置され、歩行者環境が阻害されているところがあるので、沿道の街並みに関するルールづくりの検討が必要である。
 ・歩行者空間が狭い部分については、周辺の道路環境等を踏まえながら、快適な歩行者空間づくりの検討が必要である。

【緑豊かな環境】
 ・旧東海道地域周辺の斜面地は、大規模な開発がされているところが多く、貴重な緑が失われている。
 ・境木周辺、光陵高校周辺や、旧東海道地域周辺の、緑豊かな環境の保全策を検討する必要がある。

【眺望】
 ・旧東海道は尾根沿いを通っており、横道から周辺の高台の緑やみなどみらいへの眺望が得られる。
 ・周辺の斜面地の緑も魅力的な眺望対象の一つである。
 ・眺望を楽しめるルートや住環境を創っていくためには、眺望対象の保全と眺望点周辺の整備やルールづくり等を検討する必要がある。

【街並み】
 ・歴史性を活かしながら良好な住環境を形成していくためには、広告物の色彩や大きさ、建物の色彩などに関するルールの検討が必要である。

【展望】
 ・旧東海道は尾根沿いを通っており、横道から周辺の高台の緑やみなどみらいへの眺望が得られる。
 ・周辺の斜面地の緑も魅力的な眺望対象の一つである。
 ・眺望を楽しめるルートや住環境を創っていくためには、眺望対象の保全と眺望点周辺の整備やルールづくり等を検討する必要がある。

【緑豊かな環境】
 ・旧東海道地域周辺の斜面地は、大規模な開発がされているところが多く、貴重な緑が失われている。
 ・境木周辺、光陵高校周辺や、旧東海道地域周辺の、緑豊かな環境の保全策を検討する必要がある。

【眺望】
 ・旧東海道は尾根沿いを通っており、横道から周辺の高台の緑やみなどみらいへの眺望が得られる。
 ・周辺の斜面地の緑も魅力的な眺望対象の一つである。
 ・眺望を楽しめるルートや住環境を創っていくためには、眺望対象の保全と眺望点周辺の整備やルールづくり等を検討する必要がある。

【街並み】
 ・歴史性を活かしながら良好な住環境を形成していくためには、広告物の色彩や大きさ、建物の色彩などに関するルールの検討が必要である。

【展望】
 ・旧東海道は尾根沿いを通っており、横道から周辺の高台の緑やみなどみらいへの眺望が得られる。
 ・周辺の斜面地の緑も魅力的な眺望対象の一つである。
 ・眺望を楽しめるルートや住環境を創っていくためには、眺望対象の保全と眺望点周辺の整備やルールづくり等を検討する必要がある。

5. 現地調査による魅力・課題の分析

19 本金子屋跡(旧旅籠)

22 本陣跡の蔵

【宿場を物語る歴史資源】
 ・本陣跡や旧旅籠跡などの面影を残す歴史的建造物が存在する。
 ・これらの建造物の保全や、周辺の街並みの整備が課題である。

22 本陣跡の門

6 住宅地の中の社

10 歴史的な趣のある建物

11 樹源寺

21 大仙寺

7 歴史的な趣のある建物

8 歴史的な趣のある建物

27 洋館付き住宅

【寺社、洋館付き住宅等の歴史的建造物と周辺の緑】
 ・洋館付き住宅や蔵などの歴史的建造物、歴史ある寺社などが点在している。
 ・後背には斜面緑地が広がり、周辺に緑豊かな空間が広がっている。
 ・歴史的建造物などの保全や緑豊かな環境の維持・育成が必要である。

26 歴史を物語る石垣や庚申塔が随所に見られる。

2 丁寧に貼られた高架

【歴史を物語る石碑や石垣など】
 ・何気ないものではあるが、歴史を感じさせるものの蓄積を活かした住宅地景観の維持・創出が課題である。

24 緑の多い住宅地の路地

18 国道一号沿いの植栽

20 斜面緑地

25 緑豊かな住宅地景観

【緑豊かな住宅地景観】
 ・斜面緑地や街路沿いの敷地の植木などによる緑豊かな住宅地景観が形成されている。
 ・この特徴を更に伸ばしていく必要がある。

保土ヶ谷町エリア

・本陣をはじめとした歴史資源が点在しているが、エリア全体で歴史を感じるまでには至っていない。
 ・今井川の河川改修や国道1号の拡幅工事などと連携した、魅力的な歩行者空間や憩いの場づくりを進めていく必要がある。
 ・緑の多い環境がある一方で、無秩序な開発も行われている。開発や景観のルールにより、良好な住環境を維持・創出していく必要がある。
 ・小さな環境改善から実施していくことも重要である。

4 貧弱な歩行者空間

9 ゴミ置き場のゴミに埋もれている案内サイン

1 緑の多い上流部分(未改修)

29 未改修部分

13 閑散とした広場

28 分かりづらい今井川地下調節池上の公園への入り口

12 河川改修後の今井川

16 拡幅予定の国道1号

【改善が必要な場所】
 ・日常的な維持管理や小規模な整備を行なうなどして、小さな改善を積み重ねていく必要がある。

【今井川河川改修・国道1号拡幅工事】
 ・大規模な土木事業により、環境が大きく変わりつつある。これらの事業と連携をとりながら周辺のまちづくりをすすめていく必要がある。

14

15

【無秩序な斜面地開発】
 ・無秩序な斜面地開発により、貴重な斜面緑地が失われている。
 ・開発のコントロールが必要。

3 突然現れる駐車場

5 旧東海道沿いの街並み

【無秩序な街並み】
 ・開発や建築物・工作物のボリュームや、形態意匠などに対するルールが必要である。

凡例
 ① コメント・写真
 ① 良いところ
 ① 改善が必要なところ
 ■ 主な歴史スポット
 ■ 区によるサイン設置箇所

1/5,000

5. 現地調査による魅力・課題の分析

なりわい形成エリア

凡例

- ① コメント・写真
- ① 良いところ
- ① 改善が必要なところ
- 主な歴史スポット
- 区によるサイン設置箇所

1/5,000



② 其爪の碑



⑬ 庚申塚



⑳ 橋樹神社

【歴史資産】

- ・様々な歴史を持った寺社が多く存在している。
- ・古東海道や旧今井川が通っていたルートには、古い石垣が道端に残っているが、目立たず、活かされていない。
- ・道標などの歴史資産も多いが、周辺の魅力向上が必要なのところも多い。



⑮ 暗渠化された旧今井川と石垣



⑭ 緑豊かな神明社



⑥ 本陣への見通し景観



⑪ 神戸坂からの眺望

【眺望・見通し景観】

- ・高台からは、みなとみらい地区等への眺望が得られる。
- ・旧東海道のルート上からは、本陣への見通し景観が得られるが、電線や電柱、沿道の広告物などが阻害要因となっている。



⑤ 商店街の街並み



③ 「帷子番所」



④ 銭湯

【歴史の重層性を活かしていない商店街】

- ・銭湯や「帷子番所」といった特徴のある商店・施設もあるが、商店街としては歴史の重層性を活かされていない。



⑩ 保土ヶ谷小学校跡地

【有効な活用が必要な保土ヶ谷小学校跡地】

- ・現在、ピオトープや、コミュニティ施設が設置されているが、更なる有効活用が必要である。

このエリアには老舗や技を伝える職人等が多く存在する。このような生活文化・なりわいや「わざ」を活かし、地域住民間、地域住民と来街者の交流を促進する必要がある。

古東海道沿いは寺社も多く並び、落ち着いた環境である。埋もれている歴史資産等を活かしながら、この環境を守り育てていくことが重要である。

保土ヶ谷小学校跡地の活用を検討すべきである。

後背の高台からの眺望や本陣への見通し景観を阻害しないように、沿道や周辺の街並み・景観ルールを考えることが必要である。

【人々の生活文化・なりわいや「わざ」を物語るもの】

- ・このエリアには、老舗や「わざ」を伝える職人などが、多く存在する。
- ・松原商店街は、地域の人の「台所」であり、常に活気がある。
- ・人々の生活文化・なりわいや「わざ」を物語るものを活かし、地域住民間、地域住民と来街者の交流促進が課題である。



① 脇本陣に残る宿帳



⑦ 写真屋に残る昔の写真



⑫ お寺に伝わる絵



⑬ 薬局で昔使っていた乳鉢



⑭ 印鑑屋に残る活字



⑮ 生活に使われてきた井戸



⑧ 保土ヶ谷駅前駐輪場



⑨ 駅入り口とイチョウの木



⑯ 老舗の石屋



⑰ 郷土史家の家に残る昔の保土ヶ谷の街並みのスライド



⑲ 松原商店街

【保土ヶ谷駅前】

- ・銀杏の大きな木が駅前にあるが、目立たず、資源を活かされていない。
- ・駅前には駐輪場が広がっている。
- ・旧東海道地域の玄関口としての魅力づくりが課題である。